世界銀行によるプロジェクト

南スーダン“Knowledge exchange on flood and drought management between South Sudan and Japan”（南スーダンと日本による、洪水・干ばつ管理に関する知識交換）

2025 年 2 月 5 日～8 月 31 日の契約期間で、世界銀行から「南スーダンと日本による、洪水・干ばつ管理に関する知識交換」プロジェクトを ICHARM が随意契約で受託しました。目的は、水資源・灌漑省（MWRI） をはじめとする南スーダンの洪水・干ばつ管理に関する機関に以下を提供することです。

1) 洪水・干ばつの監視、予測、警報のための科学技術の概要（事例を含む）

2) 包括的な水文予測の試行実証と、南スーダンの特定の小流域における洪水・干ばつモニタリング・早期警報システム開発のための提言

3) 職員の能力開発を目的とした日本での現地視察とワークショップを通じた知識交換

能力開発については、2025 年 8 月に、南スーダンとその周辺国から約 20 名の研修員が訪日し、利根川中流部と、宮城県吉田川・鳴瀬川流域等の治水・灌漑技術を視察しました。また、ICHARM 職員から気候変動、降雨予測などに関する講義と、東北大学本間教授から気候変動が農業におよぼす影響に関する講演をいただき、さらにジュバ近郊のナイル川支流を対象に、RRI モデルによる洪水シミュレーション実践トレーニングを実施しました。



写真 1 渡良瀬遊水地での集合写真



写真 2 ハンズオントレーニングの風景